

## 植物多様性センターの「アヤメとカマヤマショウブ」

奥多摩ゾーン石灰岩地エリアの脇の園路側に、アヤメが蕾をつけました。もともとカマヤマショウブが植わっていた傍です。カマヤマショウブはアヤメの変種とされ、じつは公園や庭に植栽されている「アヤメ」という名の植物は、朝鮮半島原産の「カマヤマショウブ:釜山菖蒲」のことが多いのです。園芸種との間では、しばしばこのような名前の混乱が見られます。今年は、ようやく東京都産の野生種のアヤメをご覧になっていただけます。



アヤメ: 網目模様の基部の蜜標が目立つ(昨年5月/鉢栽培)



アヤメの葉: 葉が柔らかく株の中心から放射状に開いて育つ



カマヤマショウブ: 濃い紫色で花が大きく蜜標の部分は小さめ



カマヤマショウブの葉: 幅が細く硬くほぼ垂直に立って育つ